



主体・協働・挑戦の活動をFacebookにて発信しています。

美作市立大原小学校 令和 6.11. 7 (木) 発行 文責 金島久美子

1 総合的な学習の時間

経済産業省「未来人材育成ビジョン」からの**大原小**

約50%がAIによる自動化 約60%が「今存在しない仕事に就く。」

2015年	2050年
<ul style="list-style-type: none"> 1 注意深さ・ミスがないこと 2 責任感・まじめさ 3 信頼性・誠実さ 4 基本機能（読み書き計算等） 5 社会常識・マナー 	<ul style="list-style-type: none"> 1 問題発見力：問い 2 的確な予測 3 革新性：ゼロ→イチ 4 的確な決定 5 情報収集 6 客観視 7 コンピュータスキル 言語スキル 言語化

※ものごとは、10年かかるんです・・・

本年度本校が重点的に研究している領域が「総合的な学習の時間」です。

1年2年での生活科を経て3年生以上で学習します。この学習の目的は、①「探究的な見方・考え方をしながら、実社会・実生活の中から「問い」を見だし、自分で課題を経て、解決し、まとめ・表現ができるようにすること」

②「主体的・協働的に取り組むことで、社会に参画しようとする態度を養うこと」です。

まさに、大原小学校が重視している姿そのものです。

大原型PBL(地域をととした問題解決学習)



「自分たちの声で、何かが変わる。変えることができる！」
私はそんな経験をしてほしいです。
失敗したって大丈夫。
小学校は失敗できる場所。
何度でもやりなおせる場所です。



2 生活・総合各学年の取組による6年間の学び (職員室前に掲示しています。ご覧ください)



学年ごとのテーマです。

- 1年生: 大好き見つけ
- 2年生: ふしぎ発見
- 3年生: 見つける「大原のみりよく」
- 4年生: 支える「大切な水・環境」
- 5年生: みがく「大原秋祭り」
- 6年生: つながる「もっと住みやすい大原の町を」



協働



1年生「生活」

「学校のスリッパが揃っていない」ことに心を痛め、あの手この手で揃える大作戦を展開。でも、うまくいかない。ということで、10月の朝礼デビュー。全校に動画視聴と昼の校内放送、ポスターあちこち、付箋などで訴えました。



2年生「生活」

協働

「美作の誇る「武蔵武道館」の秘密・不思議を探ろう」
「何であんな形なの?」「誰が使うの?」
実際に行って話を聞く中で、「この武道館をきれいになりたい」という思いで、雨のなかでもゴミ拾いをしました。



3年生

主体

「大原産の野菜をつくりたい」「それを食べてみたい」
の子ども達の強い願いから、種の買い物、地域の方と一緒に種まき、栽培、水やり、収穫、そして給食のお料理の中に入れてもらえ、「いただきます」。実行力すごいです。



4年生

主体

「きれいな水」からスタートした学習。**環境問題**、浄水場、ゴミ処理場等、社会の学習と関連付けながら、身近な地域のゴミ問題を真剣に考え、行動しました。今では、どこに行っても何をしてでもゴミを拾って帰る「自自力」。**ゴミは宝です**。



5年生

挑戦

「大原秋祭り」
昨年度の発展です。自分たちで提案する秋祭り。
祭り保存会の方のご協力を得て、キッチンカーの実現、ゴミ箱の設置。来場者にメッセージ付きお菓子のプレゼント。企画→提案→実現。**ベンチャー5年**



6年生

挑戦

「大原小庁」が発足しました。行政府としての「庁」です。
それぞれの提案は「各課」として「環境課」「高齢者福祉課」「観光課」「営業課」など、全員が「大原小庁」の課員です。大原の有する課題についてアンケートをとり、集約・分析、提起。今後美作市に「提案」する予定?です。有望な「議員」「課員」としてまさに**将来の大原を担います**。頼もしい。期待しています。
保護者の皆様、地域の皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。
大原文化祭でも、沢山の方々にご協力いただきました。

3 祝：おかやま教育の日 大原小・教育功労者表彰：山本庄太教諭



本校教諭の山本庄太が標記表彰を受けました。
「ICT教育の推進」での評価です。
毎日の端末の持ち帰りによる予習的な学びや、家庭学習、授業での友達同士の「協働的な学び」等、保護者の方々のご協力の賜で、本校の取組が三年連続で県教委から評価されました。
※これはとても希有なことです。保護者の皆様にご礼を申し上げます。



大原文化祭での発表
6年：井上さん、小林さん
4年：福田さん(動画出演)